



# TOKYO NEWS FLASH

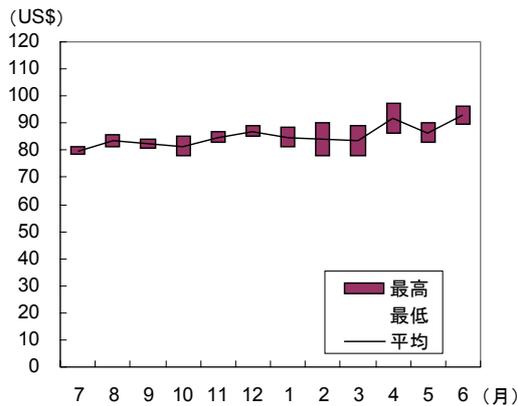
米国食肉輸出連合会 (USMEF)

Volume 243 June 27, 2003

## 米国食肉市場ニュース

### ～ 牛肉 ～

去勢牛の 100 ポンド (約 45kg) 当たりの価格  
(オクラホマシティー・体重 600～700 ポンド)



資料 : Cattle-Glenn Grimes & Ron Plain

- 注 : 1. 2002年7月～2003年6月までのデータ  
2. 該当月の第1週のデータより作成 (2002年9月および2003年1月を除く)  
3. 2002年9・11月はイヤリングビーフ (若齢牛) による  
4. 2002年12月は体重650～700ポンドのイヤリングビーフによる

### 牛肉市況 (6月16～20日)

#### ● 週間と畜頭数 :

75万頭 (前年比 2.5%増)。

● **牛肉価格** (20日正午/100ポンド [約45kg] 当たり) : 歩留まり等級 3 (YG3) のチョイスは、前週比 6.80ドル安の 135.88ドル、YG2～3のセレクトは同 3.15ドル安の 124.63ドルで取引。チョイスとセレクトの価格差は 11.25ドルで、5月第3週の価格差 18.28ドルに比べて縮小している。

#### ● 牛肉価格の動向 (5月) :

チョイスは前月比 0.9%減だが前年比 8.4%増。今年 1～5月の小売価格は、前年比約 7%増。小売価格の高騰により、同期間における肥育牛取引価格も前年を 14.6%上回っている。

● **肥育牛の取引価格** (100ポンド [約45kg] 当たり) : 牛肉価格の値下がりやと肥育業者の積極的な売り姿勢を受けて、今週も軟調。中西部の直接取引では平均 73.96ドル (前週比 3.22ドル安)、ハイプレーンズでは同 74.70ドル (同 2.60ドル安) で売買。

#### ● 出荷マージンの動向 (5月) :

全体では前月比 2.5%減、前年比 1%減。パッカーのマージンは前月を大きく上回っており、1～5月でも前年比約 1%増。同期間の総合的なマージンは前年比 0.5%増。この間、チョイスの消費者価格の 48.15%が生産者の収入となっている (前年同期は 44.8%)。

オクラホマシティーにおける去勢素牛の体重別、100ポンド (約45kg) 当たりの価格 (US\$)

体重 (ポンド)	6月16～20日
400～500	101.00～114.50
500～600	90.00～109.00
600～700*	82.00～88.50
	90.00～95.50
700～800	84.25～92.00
800～1000	76.00～86.50

\*上段は子牛、下段はイヤリングビーフ (若齢牛)

(Cattle-Glenn Grimes & Ron Plain, 06/20/2003)

### 主要 12州<sup>1</sup>のフィードロット<sup>2</sup>内頭数、前年比 3%減 (2003年6月1日現在)

	2003年 <sup>3</sup>	対前年
5月1日現在フィードロット内頭数 <sup>4</sup>	10,220	97%
5月導入頭数	2,249	102%
5月出荷頭数	2,157	102%
5月のその他の消失 <sup>5</sup>	63	89%
6月1日現在フィードロット内頭数 <sup>4</sup>	10,249	97%

- 注 : 1. アリゾナ、カリフォルニア、コロラド、アイダホ、アイオワ、カンザス、ネブラスカ、ニューメキシコ、オクラホマ、サウスダコタ、テキサス、ワシントン。  
2. 収容頭数1000頭以上。  
3. 単位 : 1000頭。  
4. 穀類あるいは他の濃縮飼料を主食とし、セレクト以上として肥育される、と畜用の牛、子牛。  
5. 死亡、放牧場への移動、他のフィードロットへの移動など。

(USDA's Cattle on Feed, 06/20/2003)

## ～ 豚肉 ～

### 豚肉市況（6月16～20日）

#### ● 週間と畜頭数：

179万5,000頭（前年比1.4%減）。3～5月のと畜頭数は前年を1%あまり下回っているが、5月から6月中旬では1.6%減。

#### ● 経産・未經産豚のと畜頭数（6月7日までの4週間）：

経産豚は前年同期比6%増、未經産豚は同0.3%増（いずれも繁殖用豚の頭数調整後の数値）。この数値から、比較的緩やかなペースで繁殖用豚の削減が続いていることがうかがえる。

#### ● 肉豚の現金取引価格

（20日/100ポンド [約45kg] 当たり）：

前週終値に比べて1.00ドル安から2.25ドル高で取引。枝肉価格は前週比0.84～1.40ドル高。

#### ● 豚肉小売価格の動向（5月）：

前月と比べて2%減、前年と比べても4%以上減少した。1～5月では前年同期に比べて3.3%減。6月には大きく回復するものと見られる。

#### ● 生体肉豚価格の動向（1～5月）：

前年比微増だが、依然として生産コスト割れ。赤身51～52%ものは、1～4月では100ポンド（約45kg）当たり平均37.24ドルだったが、5月は好調で、前月比約20%増の43.62ドルとなった。

主要市場における100ポンド（約45kg）  
当たりの最高価格（US\$）

	6月16～20日
ペオリア	43.50
セントポール	44.00
スーフォールズ	45.00
ミズーリ中央部	45.75

185ポンド物（約83.5kg）の枝肉平均価格（US\$）

	6月16～20日
東部トウモロコシ地帯	64.63
西部トウモロコシ地帯	65.04
アイオワ・ミネソタ	65.27
全国	64.85

（Hogs-Glenn Grimes & Ron Plain, 06/20/2003）

## 食品安全ニュース

### 給食用の電磁波照射牛挽肉 USDAが規定を発表

全米学校給食プログラム用に殺菌を目的として電磁波を照射した牛挽肉を購入する際の規定が、USDAから発表された。学校からの注文は2004年1月から可能になる。

2002年施行の農業法は、全米学校給食プログラム用の食品について、認可を受けた食品衛生技術の使用をUSDAが妨げないように定めるとともに、USDAに対して、配給用の製品を購入する際に「受け取り手の受容性」に配慮するよう求めている。そのためUSDAでは、学校からの注文が可能になる2004年1月までに、一般向けの資料を全学区で配布して、保護者や生徒、地域社会の判断に役立ててもらおうことにしている。電磁波照射牛挽肉を実際の給食に導入するかどうかは、各学区が決定する。

（NAMP Newsfax, 06/03/2003）

### デリ、加工食肉の殺菌汚染予防計画実施に 向け農務省の新規制スタート

USDAは、ホットドッグやデリミートを製造する2,500社に対し、有害な細菌による製品の汚染予防計画の提出を求めると発表した。また、壁や設備、調理台などの検査と結果報告を義務付け、これらに応じない工場は検査官によって営業停止になる可能性もある。

この規制では、企業は任意に選択した予防方法を実施。滅菌成分（乳酸ナトリウム等）の添加や熱湯洗浄などを行い、製品ラベルにそれを表示する。予防方法をひとつしか行わない場合には、政府職員による入念な検査を受けなければならない。

ただし、9月発効予定のこの新規制は、暫定的なもの。政府では、今後1年半にわたって業界や一般消費者の意見を取り込んで改定を加えることにしている。

（WCCO.com, 06/05/2003）

(参考)

米国のレッドミート生産量<sup>1</sup> (連邦検査を受けたもの)

(100万ポンド)

種別	2002	2003	2003	2003年5月 (%)		1~5月累計 <sup>2</sup>		
	5月	4月	5月	対2002年 5月	対2003年 4月	2002年	2003年	対2002年 (%)
牛肉	2,306	2,123	2,334	101%	110%	10,750	10,648	99%
子牛肉	15.0	15.5	15.3	102%	99%	75.5	79.5	105%
豚肉	1,628	1,640	1,532	94%	93%	8,008	8,009	100%
ラム/マトン	18.6	18.6	14.5	78%	78%	92.7	80.4	87%
レッドミート合計	3,968	3,797	3,896	98%	103%	18,927	18,817	99%

資料: USDA's Livestock Slaughter, 06/20/2003

注: 1. パッカーの枝肉重量に基づく。農場でのと畜は除く。

2. 切り上げ、切り捨てなしのデータに基づく累計および比率。